

平成二十四年九月十三日の山陽新聞市民版に掲載されました、九月十一日定例

岡山市議会で行われたさとう人海の「会派代表質問」の内容と当局の答弁です。

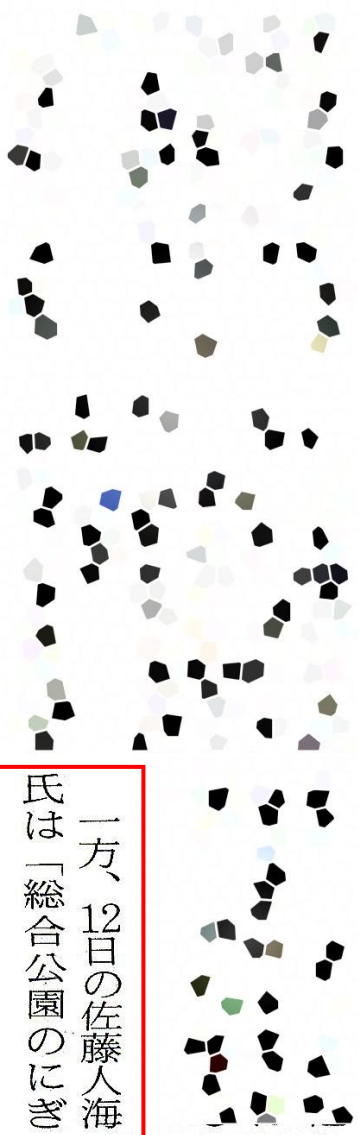
論戦

岡山市政で最大の懸案となっている岡山操車場跡地（北区北長瀬地区、20・9畝）の活用問題。市が今月に入り、整備に向けた基本計画素案を示したことを受け、市議会の各会派による9月定例会代表質問（10〜12日）で連日取り上げられ、賛否が交錯している。

岡山操車場跡地

焦点の一つは、跡地中央部に計画する「総合公園区域」（約14・3畝）。現在の暫定広場は岡山ドーム西側の約3・5畝に対し、素案は同広

総合公園の在り方焦点に



一方、12日の佐藤人海氏は「総合公園のにぎ

わい創出を期待する」と述べ、桜井局長は公園の集客数について現在のドーム利用者数などを参考に「年間100万人以上が見込まれる」とした。

20年来の課題で、計画が二転三転してきた岡山操車場跡地活用策。市民理解を得るにはなお曲折が予想され、市はしっかりと説明責任を果たす必要がある。

（鈴木義治）